

衛生動物について

衛生動物

衛生動物とは、私たちの健康に影響のある虫、ダニ及びネズミなどのことです。人への影響の与え方によって次のように分類しています。

● 媒介動物

感染症を媒介する動物たちです。

消化器系の感染症の菌を運ぶハエ類、日本脳炎を媒介するコガタイエカ、色々な感染症を媒介することがあるネズミなどが媒介動物の代表的なものです。しかし、幸いなことに私たちを取り巻く住環境等が整備され、媒介動物が媒介する感染症は、激減しました。

● 有害動物

人に直接の害を与える動物も色々あります。吸血する蚊やブユ、触れると激しい皮膚炎を起こすドクガ類、刺されると激しい症状を起こすハチ類、咬まれると激しい痛みを起こすムカデ、外国から侵入してきたセアカゴケグモなど人に直接の害を加える多くの動物がいます。また、室内に生息しているチリダニ類が、ぜん息などのアレルギーの原因になるともいわれています。

● 不快動物

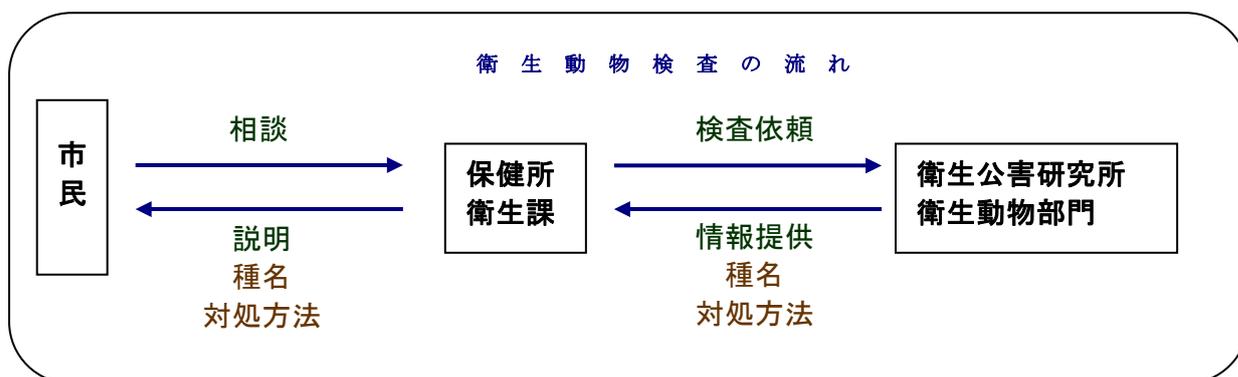
人の健康に直接の被害を与えませんが、見た目には不快である動物もいます。台所で徘徊するゴキブリ類、汚染の進んだ河川付近で大発生するユスリカ、また、秋口に住居に侵入し、悪臭を放つカメムシ類などは人に不快感を与える生物です。

● 健康に直接の影響を与えない屋内動物

健康に直接の影響を与えませんが、私たちの生活に密接な屋内動物もいます。食品に発生するコクヌストモドキ、家屋や家具に発生するヒラタキクイムシなどです。

衛生動物検査

京都市内の保健所では、市民の方からの衛生動物相談を受け付けています。「何かに刺されて困っている。」「台所で虫が発生しているが、どうしたらよいのか。」などといった相談です。このような相談に対して、保健所では、相談の原因になった虫の種類を明らかにし、その種類にあった対処方法を説明しています。ところが、保健所で種名が明らかにならなかった場合、保健所から衛生公害研究所衛生動物部門に種名鑑別の検査依頼があります。衛生動物部門では、こうして送られてきた虫の種名を明らかにし、その対処方法を保健所に情報提供します。保健所は、その情報を基に市民の方に説明し、市民の健康で快適な居住環境の確保を図っています。



最近話題になっている衛生動物(表紙の写真を参照してください。)

トコジラミ(成虫の体長は、7ミリメートル程度)

数年前からアメリカやヨーロッパの宿泊施設で問題になっています。トコジラミは、不衛生だから発生するわけではありません。人の移動に伴って、宿泊施設から宿泊施設へと移動し、被害場所を広めているようです。日本でもこの数年、宿泊施設からの相談があります。

トコジラミは夜間に行動します。昼間は、隙間や狭いところに潜り込んでいます。旅行先の宿泊施設でかばんなどを開けっ放しにしておくと、トコジラミが侵入し、家庭に持ち込むことも考えられます。

人によって差はありますが、刺されると激しいかゆみとともに赤く腫れます。駆除は、隙間に潜り込んでいるトコジラミに対して殺虫剤を散布します。

セアカゴケグモ(雌成虫の体長は、10ミリメートル程度)

平成7年に大阪府内で大量に発見されました。もともとは、オーストラリアに生息している種類で、ドクグモとして有名です。京都市内では、平成18年に2箇所で見つかることが確認されました。最初に発生が確認された大阪では、どんどん生息域を拡大しています。京都市内でも同じことが起こるのではないかと懸念しています。大阪では数人がセアカゴケグモの被害にあっていますが、幸いなことに重篤な症状になった事例はないようです。とはいえ十分な注意が必要です。

チャドクガ(幼虫の体長は、20ミリメートル程度)

チャドクガの幼虫の体表には、大量の毒針毛があります。この毛が触れると、しばらくすると赤く発疹し、かゆくなってきます。数日間かゆみが続きます。刺されたら、ガムテープや流水で取り除くと良いでしょう。幼虫は、茶、ツバキやサザンカなどのツバキ科の葉を食害しています。ツバキ科のせん定作業や庭の掃除などを行うときは、注意が必要です。初期の幼虫は、1枚の葉に群生しています。この時期なら、葉を切り取り、処分することで駆除できます。大きくなると分散しますので、殺虫剤の散布が必要なこともあります。京都周辺では、5月～6月と9月～10月に幼虫が発生します。

キアシツメトゲブユ(成虫の体長は、4ミリメートル程度)

最近、京都市内中心部を流れる鴨川の周辺でキアシツメトゲブユ成虫の吸血被害を確認しました。ブユの幼虫やサナギは、水生昆虫で、河川に生息しています。そこで、鴨川を調査したところ、多数のキアシツメトゲブユの幼虫やサナギが確認されました。現在、頻繁にキアシツメトゲブユ成虫による吸血被害が起こっているわけではありませんが、少し注意が必要です。

ブユ幼虫やサナギは、水質のきれいな河川に生息します。鴨川の水質がきれいになった証かもしれません。